

(社) 日本建築学会 近畿支部
2023 年度第 3 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2023 年 12 月 13 日 (水) 17:00～19:30

場所：大阪大学工学研究科オープンイノベーションオフィス

出席者：東，河野，近藤，齋藤，盛，松尾，山口，山澤，山中，吉原，吉村，竹村 (記録) (敬称略)

資料：・議事次第	資料 3-0
・2023 年度第 1 回議事録	資料 3-1
・令和 6 年度予算請求書	資料 3-2
・2023 年度支出計画と現況	資料 3-3
・「感染リスク評価と局所排気装置に関する研究における知見と課題」(吉原)	資料 3-4
・「空気環境と大気環境の研究を通して感じたこと」(近藤)	資料 3-5
・「感染防止対策としての高効率換気システム」(山中)	資料 3-6

議事：

1. 前回議事録が確認された。
2. メール審議で協議された次年度の幹事団体制と活動予定内容が報告・確認された。
3. 予算執行状況の情報共有があった。残りの大きな支出予定は、3 月シンポとのこと。
4. 吉原委員より話題提供として、「感染リスク評価と局所排気装置に関する研究における知見と課題」として REHVA と WHO の感染リスク評価の考え方と、それに関連する同委員の研究内容が紹介され、考え方の前提条件や計算の背景情報などについて活発に議論された。
5. 年度末シンポジウムの内容と進め方の確認があった。ご講演予定の近藤委員からはテキストマイニング結果の速報とまとめに向けた予定および展望を、山中委員からは現状は 2 案で思案中とのことをご紹介頂いた。

それを踏まえて、シンポタイトルは「空気環境研究の変遷と展望」とし、3/11PM に阪大中之島センタ 佐治敬三メモリアルホール (半分) で開催することが確認された。両先生のご講演は 50 分 (+10 分質疑) として、休憩後に部会の歴史や思い出など、対談形式も含めてお話し頂けるような形式で考えることとした。14 時開始で 17 時終了予定とし、参加費無料として Google Form での参加者管理を行う。懇親会は館内アゴラを軸に計画するが、上限を決めた先着制の必要があるかもしれない。配布資料用の原稿は PPT (2 スライド 1 ページ印刷) でお願いし、2 月末のご提出をお願いした。

タイトルと仮内容決定後すぐに HP と ML で周知に入り、年明けにはポスタ作成を行う。後援・協賛を AIJB 環境工学部会、SHASE 近畿支部、SIEJ 関西支部、人生学会に依頼する。

以上